

子どもたちの笑顔と保護者の言葉が力に



守口市学童保育指導員労働組合

水野 直美さん (執行委員長)
中尾 光恵さん (書記長)



学童保育指導員労組の仲間と。前列中央左が水野さん、その右が中尾さん

守口市では市の直営で実施していた学童保育事業(放課後児童クラブ)が、2019年4月から民間企業への委託事業となりました。守口市の指導員を辞めて別の仕事を探るか、委託された(株)共立メンテナンスの社員として働くか迫られる中、仲間と一緒に現場に残り学童保育指導員を続けている水野さんと中尾さんにお話を聞きました。

仕事の「魅力」 「やりがい」は？

水野 何といっても子どもたちの笑顔とこんな私でも頼りにしてくれるところ。そしてまっすぐに目を見て会話が成り立つところかな。あやふやなことを言おうものなら、すぐにツッコミと「なんで？」の質問です。また、保護者と一緒に子どもたちの生活をつくり出していくのも魅力の一つです。



昨年3月に開催された「臨時総会」のこれからも頑張るぞ全」

中尾 「指導員は続けたいけど、このお給料では働き続けられない」「そう言って泣く泣く辞めていく仲間を見送ってききました。苦しいこと悔しいこといっぱいでした

の子どもの成長した姿を発見できた時はすごくうれいでした。保護者に「先生のおかげで安心して仕事ができる。ありがとう」って言ってもらえると、「明日もがんばろう！」って思えます。
指導員として大切にできたことは？
中尾 子どもや保護者を励ますこ

とができる指導員になるために、ひたすら「学ぶこと」を大切にしてきました。学びを通して、子どもたちへの「まなざし」が優しくなっていると思います。
水野 どの子にとっても居場所であること、毎日楽しく帰って来られる学童であること。そのためには「一人ひとりを大事にした保育を」と思っています。

「学習」「交流」「要求実現」を大切に仲間をふやしたい

水野 民間委託により、多くの組合員の退職は本当につらかったです。

新たに採用された人をどのように組合に入ってもらおうのかを話しあい、交流会から始め、加入が続いています。先日の歓迎会も多くの参加で盛大に終えました。みんなの意見をまとめて会社に要求していくことと、仲間を増やしていきたいです。

中尾 この1年間、組合の大切さをめっちゃ実感しました。これまでのような学童保育ができるよう、私たちがあきらめず、組合の柱「学習」「交流」「要求実現」を大切にしていきたいです。そのことが守口市直営の学童保育に戻す力になると確信しています。



総会の総行動(一四〇五)

9条改憲発議させない全国緊急署名
スタート集会(2月20日)

大企業の内部留保の実態を明らかにし、労働者の賃上げと雇用の安定を求めず怒りの総行動。「安倍9条改憲NO!」「カシノより喜らじ!」「8時間働けば人間らしく喜らせる社会の実現」をめざしまじよう。



防災対策の充実を春闘交渉で求めます
「防災を学ぶつどい」(1月31日)

おおさか自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合)

2020年2月15日 No.360

F:030-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX:06-6354-7206
E-mail:mad@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人/有田 洋明 編集人/荒田 功
毎月15日発行(1部10円) 組合員の購読料は
組合費に含まれています。

2020国民春闘

働く労働者の賃上げを
中小企業の下請け単価を
引き上げへ戻収回復を